

# 『小平市医療的ケア児を支援する連絡会』 立ち上げまでの経緯と現状について



令和元年10月17日（木）  
小平市障がい者支援課



# 本日の内容



1

小平市の紹介

2

小平市及び近隣市の社会資源の状況

3

小平市における医療的ケア児支援のための協議の場の設置までの経緯

4

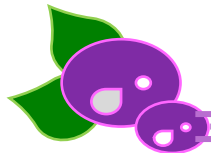
医療的ケア児の実数把握に係る調査内容



# 1 小平市の紹介

- 市制施行日：昭和37年10月1日
- 面積：20.51 km<sup>2</sup>
- 人口：194,376人（令和元年9月1日現在）
- ブルーベリー発祥の地
- 都市の利便性と、農地が残る郊外の静けさをもつ「プチ田舎」
- 総計1,028億円（一般会計626億円）
- 子育て世代人口増に伴う保育園の急増

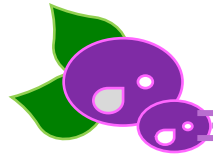




# 小平市における障がい者数の推移

種類	平成30年度	平成29年度	増減
身体障がい	5,771人	5,618人	153人増 (2.7%増)
知的障がい	1,550人	1,475人	75人増 (5.1%増)
精神障がい	1,951人	1,812人	139人増 (7.7%増)
合計	9,272人	8,905人	367人増 (4.1%増)

各年度末 障害者手帳所持者



## 2 小平市及び近隣市の社会資源の状況

小平市内の医療的ケア児と関わりのある主な療育・医療機関



### 【小平市】

- 国立精神・神経医療研究センター病院
- 緑成会整育園

### 【東大和市】

東京都立東大和療育センター

### 【府中市】

東京都立小児総合医療センター

### 【武蔵村山市】

東京小児療育病院



### 3 小平市における医療的ケア児支援のための 関係機関の協議の場の設置までの経緯

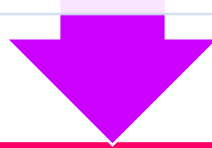
#### 第一期小平市障害児福祉計画への位置付け(平成29年度)

平成28年6月3日公布の児童福祉法の一部改正や国の基本指針を踏まえ、平成30年3月に策定した第一期小平市障害児福祉計画の中に、平成30年度末までに医療的ケア児の協議の場の設置を目指すことを位置付けた。



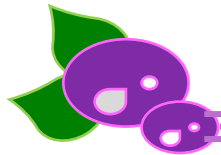
#### 協議の場の設置へ向けた講演会及び“準備会”の開催等(平成30年度)

- ・課内でのプロジェクトチーム立ち上げ
- ・準備会の開催(2回)
- ・講演会の開催
- ・チームメンバーによる情報収集



#### “医療的ケア児を支援する連絡会”の設置、開催(令和元年度)

- ・有識者、医療機関従事者、福祉サービス従事者、訪問看護事業者、当事者家族、教育委員会部局、市長部局関係機関等への声かけ
- ・『医療的ケア児を支援する連絡会』の開催



# 協議の場の設置へ向けた“準備会”開催までの経過

## 有識者による講演会を開催（平成30年9月）

NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事・女子栄養大学・白梅学園大学非常勤講師の下川和弘氏を招き、「医療的ケア児の豊かな地域生活を目指して～今求められている関係機関の協議の場～」をテーマに一般公開にて講演会を開催。その後、講演会に集まった関係機関（医療、福祉、保育、教育分野）に次年度以降医療的ケア児支援のための協議の場の設置を周知。さらに、準備会のコアメンバーとなる当事者家族、保健所、訪問看護事業所へ、準備会への参加を要請。

## 第1回準備会を開催（平成30年12月）

当事者家族、保健所、福祉機関（医療的ケア児コーディネーター）、訪問看護事業所看護師、居宅介護事業所職員、市健康推進課に参加いただき、第1回準備会を開催。協議の場の設置へ向けた話し合いを実施。協議の場に係る設置の目的、根拠法令、設置形態、構成メンバー、開催回数、想定される協議事項等について情報共有、協議を行った。この時点で平成31年度予算は未確定であった。

## 第2回準備会を開催（平成31年3月）

第1回準備会と同メンバーで第2回準備会を実施。この時点で平成31年度予算が決まっていたため、第1回準備会で協議した内容について、より具体的な協議を行った。



# “医療的ケア児を支援する連絡会” 開催までの経過と現状

## 第1回連絡会を開催（令和元年6月）

年度当初より、第1回連絡会を開催するために課内プロジェクトチームでの打ち合わせを重ねた。構成メンバーを選考し、各関係機関との調整を行う。市内外の訪問看護事業所へアンケート調査等を実施し、市内の医療的ケア児の人数把握に努めた。開催された第1回連絡会では、設置までの経緯、アンケート調査の集計結果等の情報共有や、各参加機関の医療的ケア児への関わりや課題等について意見交換を行った。

## 第2回連絡会を開催（令和元年9月）

第2回連絡会開催へ向けて、訪問看護事業所へ人数把握のための追加調査を実施した。

開催された第2回連絡会では、第1回連絡会での意見交換の振り返りや、追加実施したアンケート調査の集計結果の報告等を行った。また、当連絡会のメンバーでもある下川氏より、「医療的ケア児者の地域生活～生涯にわたって切れ目のない一貫した支援の現実～」をご講演いただき、医ケア児を取り巻く最新の状況を学んだ。さらに、連絡会メンバーの中からワーキングチームを立ち上げようという積極的な意見が出され、前向きな話し合いが行われた。

## 第3回連絡会を開催予定（令和2年1月末）

多摩地区において最前線で医療的ケア児の在宅療養生活を支援している、さいわいこどもクリニックの宮田章子氏より在宅医のお立場から講演をいただく予定。



# 4 医療的ケア児の実数把握に係る調査内容

## 1 回目調査

### 【調査依頼先】

市内及び近隣市の訪問看護事業所78カ所

### 【調査内容】

以下について調査を行った。

- ①事業所で把握している、小平市居住の医療的ケア児（者）の人数（そのうち、未就学、就学、成人の内訳）
- ②①の人数のうち、人工呼吸器装着者
- ③医療的ケア児の支援に関わる中での課題（自由意見）
- ④医療的ケア児の受け入れをしていない場合は、その理由

### 【調査結果】

回答率70.5%

医療的ケア児を支援していると回答した事業所は14カ所  
合計人数78名（ただし、人数は延べ人数（複数の事業所が関わっている人の場合は、それぞれの事業所が計上している））。

この結果により、小平市内の医療的ケア児の概数や、医療的ケア児の支援に係る訪問看護事業所の課題等が整理できた。

## 2 回目調査

### 【調査依頼先】

①前回調査で小平市居住の医療的ケア児を支援していると回答した訪問看護事業所

14カ所

②未就学児に関わる健康推進課担当保健師

### 【調査内容】

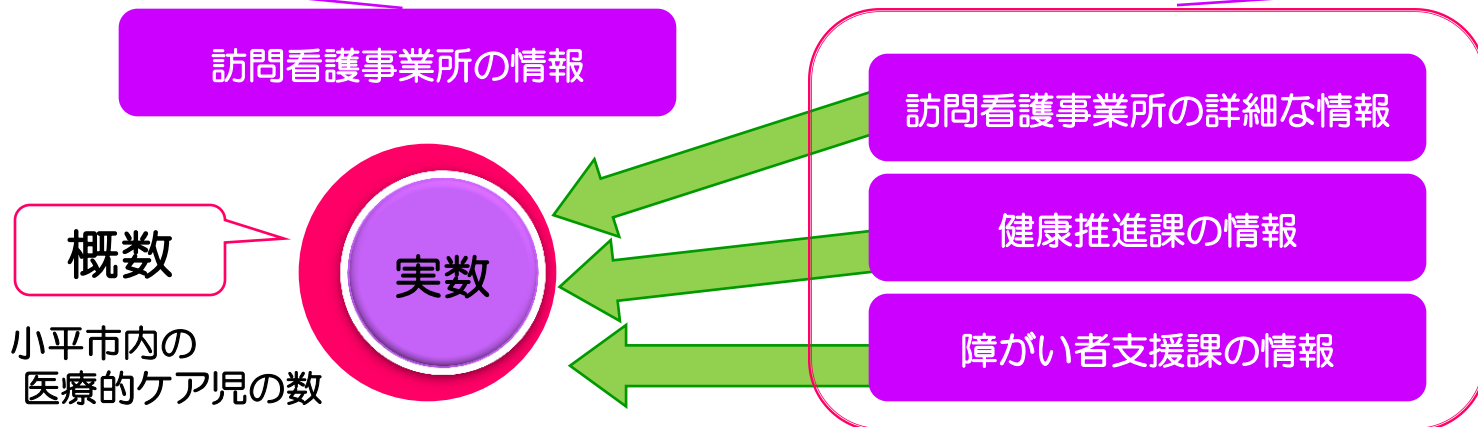
上記調査依頼先へ、関わっている医療的ケア児の①氏名（イニシャル）、②性別、③年齢、④疾患名、⑤医療的ケアの内容について調査を行った。

### 【調査結果】

回答結果を基に、障がい者支援課で把握している情報と合致させることで、医療的ケア児の個別化を図り、より正確な人数（実数）の把握を行った。

その結果、小平市内の医療的ケア児の数は55名という結果となった。

さらに、その55名について、訪問看護事業所が実施する医療的ケアの内容、障害者手帳所持状況、福祉用具給付状況、福祉サービス利用状況を把握できた。



ご清聴ありがとうございました

